

コザ信用金庫の環境への取組みについて

【循環型社会に配慮した店舗づくり】

当金庫では、平成 21 年 10 月“金融機関の店舗として沖縄県内では初”となる太陽光発電システム（3 kW）を導入した十字路支店を移転オープンしました。

また、平成 23 年 1 月には、それまで分散していた本部機能の連携・強化を図るため新別館を建築しました。

新別館は地上 4 階建て鉄骨造りで、太陽光発電システム（10 kW）設置に加え、人感センサー付 LED 照明灯を共有部分に採用したことにより消費電力の削減に大きな成果が出ました。

新別館の消費電力について、沖縄では一般的に消費電力のピークは、クーラーがフル稼働する夏場になりますが、その実績について旧別館時代の平成 20 年 8 月が 24, 239 kWh、平成 21 年 8 月が 23, 630 kWh、新別館建築のため仮住まいの平成 22 年 8 月は 15, 000 kWh でしたが、新別館で迎えた初の夏場である平成 23 年 8 月は 11, 611 kWh と大幅な削減に成功しました。



地域における環境への取組み



金融機能を通じた取組み



事業活動における環境負荷低減の取組み



環境に配慮した経営



国民運動等への参画



その他